

エコ農業茨城の取組

エコ農業茨城とは、農村における環境保全活動と環境にやさしい営農活動を一体的に進める取組です。

エコ常井営農組合 [茨城町]

問い合わせ先 茨城県東茨城郡茨城町小堤1080 茨城町 農業政策課 TEL.029-292-1111

| 地域の特性を活かした「憩いの場」が新しいつながりをつくるため池を整備し地域の憩いの場に再生

茨城町常井地区は、涸沼前川の水源を利用した稻作をメインに、水はけの良い土壤を活かしたサツマイモやニンジンなど根菜類の生産が盛んな地域です。この地区には、以前、荒れ果てた農業用ため池がありましたが、清掃活動などの環境改善を行い、地域の憩いの場として再生。現在は「常井ふれあい公園」に生まれ変わり、地域の人たちとのふれあいの場として、さまざまなイベントに活用されています。



■取り組み



生産者の声

良好な土づくりのため 有機農法を継続

● Aさん（稻作農家）

有機農法も取り入れ 周辺の自然環境も改善

エコ農業への取組は、化学合成農薬や化学肥料を慣行の半分以下に減らす特別栽培への移行を主に推進。その他米ぬかや大豆、油かすを醸酵させた「ぼかし肥料」を使った有機農法も導入しています。その効果は、収穫された作物の食味に表れるだけでなく、周辺の環境にも変化をもたらしました。良好な環境の基準となるホタルが見られるようになったことをはじめ、青サギやカワセミ、野うさぎの生息も確認されています。

■イベント実施状況

(2013.11.17)

こだわり米「きらり」も好評

11月17日に、常井ふれあい公園で収穫祭を実施しました。当日は近隣にある桜の里ニュータウンなどから地域の消費者が集まり、地元で収穫された野菜をふんだんに使った芋煮や焼き芋、杵つきの餅などに舌鼓を打っていました。また、日本一の食味を目指すこだわり米「きらり」を羽釜で炊き上げて提供。参加者たちは、地域で収穫されたお米の美味しさを再認識していました。



参加者の声

消費者の立場から 地域農業を支援

● Bさん
(主婦)

日々から、常井地区で収穫された新鮮な野菜を直売所で購入しています。このようなイベントを通して生産者の方達とふれあうことができるので、安心して食べられるのも魅力ですね。これからも地域の農業を、できる限り支援していきたいと思っています。



作物を育てる大変さを知ることで 学ぶ楽しさと喜び

農業体験で子どもたちの食育に貢献

エコ常井営農組合は、子どもたちに農業の大切さを伝える活動を行っています。その一つが、茨城町立大戸小学校での農業体験です。6月に秋なすの種を蒔き、営農組合員の指導のもとで育成。なすの成長を学習しながら、農作業の難しさと育てる喜びを体験しました。夏には実ったなすを収穫し、カレーを作り試食。この取り組みは、食の大切さを知る食育にも貢献しています。



■取り組み



生産者の声

農業体験で子どもたちの 自然を愛する心を育成

● Cさん（稻作農家）

農作業を通して 自然を愛する心を育む

子どもたちを対象とした農業体験学習への取り組みは、農作業を通して地域の環境を考える機会を提供することも目的のひとつとしています。農業が環境保全のために担う役割を知り、水田や畑の大切さを体験的に学ぶ。また、土や虫などの生き物とふれあうことは情操教育にも効果的です。子どもたちは営農組合員と共同で行う農作業を通して豊かな心を育んでいます。

■イベント実施状況

(2013.12.06)

小学校で「餅つき大会」を開催

12月6日に茨城町立大戸小学校で、餅つき大会を行いました。このイベントは2年生の生活科の授業時間を利用して行われた、農業体験学習の一環です。つき上がったお餅は、お雑煮やあべかわ餅にして試食。あべかわに使用したきな粉も、子どもたちが営農組合員と育てた大豆から精製したもので、子どもたちは、自分がついたお餅を美味しそうに頬張っていました。



参加者の声

食に対する感謝の 気持ちを育てる農業体験

● Dさん
(小学校／教員)

作物を自分たちで育てることで、子どもたちの食に対する感謝の気持ちが芽生えてきました。また地域の方に指導していただくことで、地域に対する関心も湧いてきたようです。今後、この取り組みの成果を、地域に広げていきたいと考えています。